



# 9月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園

2023年9月1日発行

## 今月の行事予定

- 4・19日 礼拝      11日 避難訓練
- 発育測定 (13日ぞうきりん 14日うさぎりす  
16日あひるひよこ)
- 20日 クッキー作り    21日 誕生会
- 26日 口座引落日      27日 リハーサル
- 30日 第32回さやま保育園きらら運動会

### \*\*保育目標 報謝 ありがとう\*\*

- ・だれにでも、進んで「ありがとう」をいいます。
- ・お友だちを励ましたり、協力したり、運動会を楽しむ。



### 【法話】

### 【お彼岸】

今年の夏は、「異常気象」と言われ、125年で最も高気温であったとも言われていますが、ようやく涼しい風が吹き始めたようです。しかしまだ、高温の日も多く、熱中症にもご注意くださいようお願いいたします。

お彼岸は、「暑さ寒さも彼岸まで」と、昔から言われるように、春と秋の年に二回、一週間ずつあります。その一週間の真ん中の日が、彼岸の中日で、現在では、春分の日、秋分の日という祝日になっています。ではなぜ祝日なのでしょう。か？昼と夜の長さが同じだから……太陽が真東から昇るから……？「国民の祝日に関する法律」には、秋分の日は「祖先を敬い、亡くなった人をしのぶ」とあります。昔からの仏教行事であるお彼岸の意義をくんで、祝日に定められているようです。

今の私のいのちがあるのは、数え切れない多くのご先祖の方々がおられたからです。その多くの方々の大きなお徳を偲ぶ中で、私自身のいのちを考える日として定められているのが、お彼岸なのです。 日頃は、  
彼の岸（真実の世界）に目をそむけて、此の岸（迷いの世界）に生きている私達ですが、お彼岸に際し、少しでも私のいのちについて、真正面から考えてみたいものです。私自身の、いのちが、どこから来て、どこに行くのか、真剣に考えてみましょう。私の頭では、答えは出ませんし、仏教・仏さまの教えに尋ねる・御聴聞する以外、答えは見つかりません。俱会一処、また遇える世界に向かって、ともに生きて往きたいと思ひます。

合掌

今年度の運動会は人数制限をせず、たくさんの方に参加いただける行事にしたいと思っています。未満児も、未就園児も、おじいさんおばあさんもみなさんお越しく下さい。

### 【あひる組への進級】

さやま保育園では今年度から、以上児は縦割りの異年齢保育を始めています。未満児は0・1・2歳児を、月齢別に4つのクラスに分けて、発育に即した保育を行っています。その上で、時間によっては園庭やホールでいっしょに遊んだり、違うお部屋に遊びに行ったり、2クラスで散歩に行ったり、異年齢で過ごす時間も大切にしてきています。特に、りす組とうさぎ組、ひよこ組とあひる組は、お昼寝の時間や、朝夕の時間など、職員も一人ひとりの園児が把握できるようにしています。

9月からは、育児休業明けの0歳児さんの入園が増えてきて、月齢の高いお子さんからあひる組に進級することになりました。8月下旬のちょっと涼しい時間の砂場で、歩き始めたひよこ組さんと砂場遊びにちょっと慣れたあひる組さんがいっしょに過ごしていました。砂場にしゃがんでスコップで砂に穴を掘ろうとするあひる組さん。バランスをとりながら、裸足で砂の感触を感じて歩くひよこ組さん。先生のエプロンをしっかり握って、砂の上にお座りしているひよこ組さん。先生が見てくれる安心感の中で、それぞれのやりたい遊びを楽しんでいました。4月のひよこさんは、砂場で泣いていただけでしたが、...

子どもたちは豊かな、「最近接領域」の関わりの中で育っていきます。小さなひよこ組さんも、少し大きなあひる組さん達の楽しい遊びが「最近接領域」となっていきます。砂場でスコップを持って穴を掘り始めるのも、もうすぐです。あひる組の部屋にひよこ組さんがやってくると、おもちゃを貸してあげたり、絵本を読む真似をしてくれます。あひる組さんも育てられています。

ある日、ひよこ組にぞう組のお兄さんお姉さん達が遊びに来てくれました。赤ちゃんに触れることが初めての子もいました。大切な宝物に触れるように、優しく・愛しく、いのちを感じてくれていました。